

子ども・子育てプラザで実施した意見交換会における主な意見

名称	【乳幼児】子ども・子育てプラザ利用者向け意見交換会（成田西）
対象	子ども・子育てプラザ利用者、児童福祉関係者
参加者数 （区民）	保護者 9 名、児童福祉関係者 3 名
開催日時	令和 5 年 3 月 24 日（金）10 時～11 時 30 分
場所	子ども・子育てプラザ成田西
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した居場所において、児童館の機能・役割が継承・発展されているか、利用者や関係者から、多様な意見やアイデアを収集する。
主な意見	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(1) 乳幼児の居場所について</div> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館と違って 9 時から使えるのが良い。 ・プラザは広くて良い。 ・プラザのプログラムはお母さん同士のコミュニケーションを取り入れてくれていてありがたい。知り合いが増えた。 ・職員がとても良い。悩んだ時に相談ができるし、話を聞いてくれてガス抜きになる。 ・日曜日に利用できるのが良い。児童館もサンカード利用はできるが、使える部屋が限られているし、職員がいるかどうかともとても大きい。プラザは日曜日でも安心して利用できる。 ・長時間利用するために、おやつを解禁してほしい。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(2) 児童館再編の取組について</div> <ul style="list-style-type: none"> ・私立小に通う子は、区立小学校の中にある学童に一人だけ制服でぽつんと入るのは寂しい。 ・取組のことを知らない人が多い。もっとアピールした方が良い（明石市みたいに）。 ・小学校の中に居場所があったら安心だが、一方で、児童館だったら学校以外の子と交流ができる。 ・乳幼児・小学生・中高生と、年代によってどんな遊び場所があるのか、調べなくてもわかるようにしてほしい。 ・居場所の選択肢をたくさん作ってほしい。バスケがしたいなら（他校の子とは遊べないけれど）学校の校庭や体育館、他校の子と屋内で遊びたいなら児童館など、子どもたちが誰と何をしたいかで、過ごす場所を選べると良い。 ・予算が厳しい中では、同じ施設の 1 日の稼働率をいかに高めるかが重要。午前中は乳幼児、放課後は小学生など、それぞれの時間帯に適した使い方をすると良い。 ・地域のニーズに合わせたり、開館時間や閉館時間をずらすことで、ニーズに合った施設を選べるようにすると良いのでは。 ・学童クラブは宿題を見てくれるところとそうでないところがある。学童以外の居場所を作るなら、子どもたちの交流プログラムや、保護者にも嬉しい教育系や地域系のプログラムをやってほしい。 ・子が小学生になるとどんな感じなのか理解してもらおう意味では、乳幼児親子と小学生

	の交流の時間も大切だと思う。
--	----------------

名称	【乳幼児】子ども・子育てプラザ利用者向け意見交換会（和泉）
対象	子ども・子育てプラザ利用者及び児童福祉関係者
参加者数 （区民）	保護者3名、児童福祉関係者4名
開催日時	令和5年3月28日（火）10時～11時30分
場所	子ども・子育てプラザ和泉
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した居場所において、児童館の機能・役割が継承・発展されているか、利用者や関係者から、多様な意見やアイデアを収集する。
主な意見	<p>（1）乳幼児の居場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間制限や予約が必要だったりとしづらい所が多いが、プラザはそういった制限がないので、利用しやすい。 ・家から距離があっても毎日来ている。 ・プラザは来たくなる、ゆったりできる場所。 ・長い時間、午後も含めて小学生がいないので、安心して、遠慮することなく広いスペースで遊べる。 <p>（2）児童館再編の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の施設だけになってしまうのはもったいない、夕方の時間の切り分けもできたら良いのでは。 ・人間関係のトラブルももう少し幅広くとらえてほしい。 ・幼稚園と小学生の保護者が交流する機会がない。 ・いろいろな幅で見舞ってくれる。職員がみんなで協力している。 ・部屋が分かれていて集える場となっている。 ・世代間のつながりをどう作るかが課題。 ・児童館は世代をつなげてきたので、今後さらに機能の充実をして欲しい。 ・コロナの影響でつながりがわかりづらい。 ・小学生、中学生、高校生、大学生、大人がいて、こういう風に成長していきたいというモデルちょっと上の先輩と出会える空間と場所が必要。 ・子供たちの力が育ち、つながる地域の力が必要。 ・交流の場として、コミュニティふらっとや図書館は使いづらい。

名称	【乳幼児】子ども・子育てプラザ利用者向け意見交換会（善福寺）
対象	子ども・子育てプラザ利用者及び児童福祉関係者
参加者数 (区民)	保護者6名、児童福祉関係者4名
開催日時	令和5年3月29日（水）10時～11時30分
場所	子ども・子育てプラザ善福寺
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した居場所において、児童館の機能・役割が継承・発展されているか、利用者や関係者から、多様な意見やアイデアを収集する。
主な意見	<p>(1) 乳幼児の居場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他にも同じ境遇の保護者がいて、悩みごとなどを相談できていい。 ・家にずっといるとストレスになるため、プラザがあってありがたい。 ・児童館は大きな子ども（小学生）がドッジボールなど、思いっきり遊んでいる中に乳幼児を連れていくのには不安があったが、プラザは安心して利用できる。 ・家庭で保護者が孤立しているケースが多い。地域の施設が育児や発達についての学びの場となると良い。 ・午前中は自宅で子どもと過ごしていられるが、疲れが出てくる午後は息詰まってくる。プラザは午後も安心して利用できてありがたい。児童館は午後、小学生が多くて利用しにくかった。 ・ハイハイの子が安心して遊ばせられる場所が児童館には無かった。 ・同じ世代の同じ悩みを持った方々と相談や話が聞けると、こちらからも話しやすいし、解決しやすい。 ・プラザになり、プログラムの枠が増えたことにより制限がかかってしまった。 ・プラザに限らないが、小学生と乳幼児など、兄弟と一緒に遊ばせられる場所はなかなかない。 ・プラザは徒歩に行ける範囲にないと利用しにくい。 ・プラザは遊園地と同じ感じで、子どもの想像力を制限してしまう。 ・年齢ごとに切ってしまうのは良くない。 ・児童館の遊戯室でコンビカーに乗って遊んでいる中、ハイハイの子が遊んでいると危険な状況であったが、みんなが注意しながら遊んでいたことは魅力でもあった。 ・プラザになっても地域で関わると良い。 <p>(2) 児童館再編の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラザは乳幼児にとってはいいが、多世代の交流はしにくい。 ・機能を切り分けた場合に、成長していく子どもの様子をどのように伝えていけるかが課題。 ・成長の様子を知ることの重要性も理解できるが、目の前の乳児の育児で疲弊している中では、乳幼児専用で安心して利用できることの方が重要。 ・小学生と乳幼児の兄弟と一緒に遊ばせられるところがほとんどない。 ・プラザは歩いていけるところにあるかどうか重要。

- ・プラザや児童館のおたよりには、イベントの情報があるが、そこにいくと何ができるか、どんな人がいるかが伝わると利用が増えるのでは。
- ・利用者目線で情報発信すると、利用したことがない人にも伝わる内容になる。
- ・ご意見箱を設置するなど、わがままも含めて、利用者からの要望を自由に伝えられると、運営の改善につながるのでは。
- ・アンケートについて、日頃から利用している方が回答しているので肯定的な回答になっている。アンケートの回答期間の短さと対象範囲の狭さを見ると、本気で検討するとは思えない。
- ・人と人が関わり合える場所があると良い。
- ・複合施設もありつつ、近所に行ける場所があると良い。

放課後等居場所事業・学童クラブ利用保護者向け意見交換会における主な意見

名称	【小学生】放課後等居場所事業・学童クラブ利用保護者向け意見交換会（成田西）
対象	放課後等居場所事業・学童クラブ利用保護者、児童福祉関係者
参加者数 （区民）	保護者6名、児童福祉関係者2名
開催日時	令和5年3月23日（木）16時～17時30分
場所	子ども・子育てプラザ成田西
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した居場所において、児童館の機能・役割が継承・発展されているか、利用者や関係者から、多様な意見やアイデアを収集する。
主な意見	<p>（1）小学生の居場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はっぴいタイムを利用して他のクラスや学年にも友だちができるのがよい。 ・学校を窮屈に感じていたが、はっぴいタイムを好きになって、学校に張り切っていくようになった。 ・はっぴいタイムは学校から直接利用できて安全で安心できる。 ・公園だと怪我した、怪我させた場合のことが不安だが、はっぴいタイムは大人の目があるので安心。 ・人数に比べてかなり狭いように見える。空いている教室を使って、もっと広く遊べると、動きのある遊び、静かな遊びそれぞれできてよいのでは。 ・一旦家に帰った後、すぐに放課後等居場所に遊びに行けないのは不便。 <p>（2）児童館再編の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館を利用した際、遊戯室を半分に分け、一方では小学生がドッジボールを、もう一方では乳児がコンビカーで遊んでいて、安全面に不安を感じた。 ・児童館では小学生と乳幼児が違う部屋で遊んでいて、廊下などで緩やかに交流できる環境はよかった。 ・児童館では5分だけホールで遊ぶなど、都合に合わせて遊べていた。放課後等居場所事業でも、短時間でも体育館での遊びができるとよい。 ・旧成田児童館では、東田小、杉二小、松ノ木小の子どもと一緒に遊んでいたのが良かった。小学校入学前の友だちとも一緒に遊ぶことができていたのが良かった。放課後等居場所事業では、登録さえすれば他校の児童も遊べることにはなっているが、基本的にはその学校の子どものしか利用しない。 ・学校に頑張って通っている子ども、学校に居づらい子どもにとって、児童館は安全な場所だったことを考えると、色々な居場所の選択肢があるといい。 ・夏の暑い時期、遊べる場所がなかなかない。 ・杉二小は改築工事中で、校庭や体育館がほとんど使えないので、もう少し身体を使って遊べる場所があるといい。 ・プラザでは妊娠中から親身になって話をきいてくれ、大きな子どもとぶつかる心配もない。他区からくるとびっくりするぐらいのサービスで、とても評判がいい。 ・全ての児童館がなくなってしまうと、遊びの選択肢が狭まってしまうので、なくさな

	<p>いで欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティふらっとの部屋を活用して、プラザの小学生タイムのように、児童館やプラザの職員が行って夕方の時間帯に使えるようにしてはどうか。 ・プラザの乳幼児室は上の子（小学生）を連れて一緒に入れない。小学校高学年なら自分で遊べるが、低学年はまだ不安。一方で乳幼児の目線では、小学生がいると不安もある。やり方をもう少し工夫できるとよい。 ・放課後等居場所事業の拠点の部屋が2つあれば、身体を動かす遊びと静かな活動が同時にできるのでありがたい。
--	--

名称	【小学生】放課後等居場所事業・学童クラブ利用保護者向け意見交換会（和泉）
対象	放課後等居場所事業・学童クラブ利用保護者、児童福祉関係者
参加者数 (区民)	保護者2名、児童福祉関係者2名
開催日時	令和5年3月28日（火）16時～17時30分
場所	子ども・子育てプラザ和泉
意見交換会の目的	児童館再編の取組により展開した居場所において、児童館の機能・役割が継承・発展されているか、利用者や関係者から、多様な意見やアイデアを収集する。
主な意見	<p>(1) 小学生の居場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し自由に遊べるようにしてほしい。 ・決められた遊びより、好きに遊びたい。特に高学年にその傾向がある。 ・プラザは乳幼児だけの利用にするより、いろいろな利用方法で使えた方がよい。 ・児童館は多世代で使えた。 ・このイベントだったら行くという魅力的なイベントが必要。 ・もっと自由に遊べるように工夫してほしい。 ・いずみんなクラブは、子どもの中では学校の延長になっている。 ・そこに行ったら誰がいるという期待感で子どもたちはそこに行く。人（大人）との付き合い方でも行く場所が変わってくる。 <p>(2) 児童館再編の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制約が多い学校内ではなく、もっと多世代交流ができるような工夫をしてほしい。 ・小学生と乳幼児を一緒に連れて利用ができないので、児童館のような場所も必要。 ・低学年の親としては、学校から直接行けるいずみんなはありがたい、児童館では一旦帰宅してからの利用になる不安がある。 ・再編によって中高生委員会が、なくなったことには反対。 ・小学生から中高生につながるような居場所づくりをしてほしい。

名称	【小学生】放課後等居場所事業・学童クラブ利用保護者向け意見交換会（善福寺）
対象	放課後等居場所事業・学童クラブ利用保護者、児童福祉関係者
参加者数 (区民)	保護者6名、児童福祉関係者4名
開催日時	令和5年3月29日（水）16時～17時30分
場所	子ども・子育てプラザ善福寺
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した居場所において、児童館の機能・役割が継承・発展されているか、利用者や関係者から、多様な意見やアイデアを収集する。
主な意見	<p>(1) 小学生の居場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内に居場所が移ると、気分転換にならないのではと心配していたが、放課後そのまま利用できてよい面があることが分かった。 ・ざりまるひろばになってから行くようになった子もいる。 ・3・4年生で友人が増えて、大人の目のない所に子どもだけで約束して遊べるようになった。 ・子どもに対する大人の数が増えてきている。子どもが行きづらくなっている。 ・校庭が使えない、使う時間が短いのは残念。 ・ゆう杉は少し距離がある（自転車で30分）ため利用しづらい。 ・学校施設に、放課後等居場所事業を実施するスペースはあるのか。ぎゅうぎゅうに押し込まれる状況であれば、児童館のままで良い。 ・何時間も学校にいるのは窮屈だと思う子もいる。 ・ここでしか遊べないのは。動きたい子にとって苦痛。 ・他の小学校のエリアに住んでいる子はなかなか行きづらい。 ・特定の小学校を限定するのではなく、どこからでも行ける児童館が面白い。 ・子どもは学童と放課後等居場所事業を自由に使い分けている。 ・高学年になると、おやつを食べたり、ゲーム、カード遊びをするようになり、児童館や居場所以外の場所で遊ぶようになった。 ・コロナの後、オンラインゲームで友だちと遊ぶなど、遊び方が変わった。 ・プラザでも小学生が遊べるのが、もっと伝わるとよい。 ・子どもが求める遊び場は、成長に応じて変わっていく。 ・遊びをするだけではなく、ただお話をしたり、ゆっくりしたい子どももいる。 ・安心と冒険がセットが必要。 ・親からしたら、児童館に行くまでも不安があった。通学路からはずれたり、家から遠くなったり、冬は暗くなるため心配。 ・楽器の演奏ができる部屋など、高学年や中高生向けの施設がもっとあると良い。 <p>(2) 児童館再編の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設再編整備計画を策定する前に、子どもや保護者の声を聞いて欲しかった。 ・プラザのホールなどを小学生が使えるように、タイムシェアをしてほしい。 ・井荻小の校庭や体育館は、利用団体が多く、自由にボール遊びができない。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・小学生の遊び場も大切だが乳幼児専用の遊び場も大切。・プラザに一時預かりがあって助かる。・学童クラブと放課後等居場所事業の子どもが交流して、一緒に遊べる機会が日常的にあるといい。・児童館のように、プラザでも0歳から18歳までが交流できるといい。・乳幼児、小学生、中学生と成長に応じて居場所（環境）が変わっていくことに、子どもも親も不安を感じてしまう。・プラザは児童館と比べると、乳幼児親子にとっては良い施設。・障害を持った小学生の出かける場所がない。 |
|---|

区内 14 か所の放課後等居場所事業で実施した意見交換会における主な意見

名称	松ノ木子ども会議（まつぼっくりミーティング～いいたいことをぶつけよう～）
対象	小学生
参加者数 （区民）	25 名
開催日時	令和 5 年 3 月 7 日（火） 午後 2 時 40 分～ 4 時 10 分
場所	松ノ木小学校 まつのきルーム
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「放課後等居場所事業」の検証に資するため、子どもたちに児童館再編の取組を説明した上で、利用者本人である子どもたち（小学生）から、多様な意見や声を聴取する。
主な意見	<p>やってみたいこと、やって欲しいことはありますか？</p> <p><やりたい遊びなど></p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと映画鑑賞したい、スライム作りしたい、外で遊びたい。 ・お菓子を食いたい、お菓子作りしたい。 ・漫画（高学年向け）本がほしい <p><制度面></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレステやスイッチがやりたい ・自転車で来館 OK にしてほしい ・タブレットがやりたい。 ・中学生になってもまつぼっくりに来れるようにしてほしい <p><設備面></p> <ul style="list-style-type: none"> ・液晶画面テレビが欲しい ・ソファーや座布団、背もたれがあるところが欲しい ・バドミントンのネットが欲しい ・サンドバッグが欲しい ・相談室を作してほしい <p>居場所等居場所事業以外では、どこで遊んでいますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス公園、和田掘グラウンド、わんぱく公園、済美山公園 ・友達の家や家の前の道路 ・フィギア遊び・ゲーム・漫画・YOUTUBE・DVD など <p>放課後等居場所事業で嫌なところはありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビブスを代えてほしい。⇒ブレスレット・帽子など ・差別をしないで。かたきの最中に顔はセーフなのに、アウトにされた。 ・高学年が遊んでばかりいて、全然遊べない。 ・良い先生が多いのに、急に怒らないでほしい。

名称	大宮子ども会議（れいんぼーミーティング）
対象	小学生
参加者数 （区民）	24名
開催日時	令和5年3月9日（木）午後3時30分～4時
場所	大宮小学校 家庭科室
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「放課後等居場所事業」の検証に資するため、子どもたちに児童館再編の取組を説明した上で、利用者本人である子どもたち（小学生）から、多様な意見や声を聴取する。
主な意見	<p>何して過ごしていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題（学習） 、ボードゲーム ・サッカー、ドッジボール、なわとび、かたき、鉄棒、自由あそび <p>やってみたいことはなんですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お料理 ・遠足（旅行・遠いところ・お泊り・海） ・カラオケ、YouTube、パソコン ・おまつり、おばけ屋敷 ・逃走中、夜ふかし ・実験、料理（うまいもの・おかし） 、お出かけ ・おうちごっこ（段ボールハウス・基地など継続的に） ・ゲーム（Switch・クレーンゲーム・オンライン） ・寝たい ・テレビ番組制作 ・Youtuber の動画制作 ・有名人に会いたい ・宇宙旅行、世界一周

名称	永福子ども会議（にこパラミーティング）
対象	小学生
参加者数 （区民）	10名
開催日時	令和5年3月10日（金）午後4時～4時45分
場所	永福小学校 メモリアルルーム
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「放課後等居場所事業」の検証に資するため、子どもたちに児童館再編の取組を説明した上で、利用者本人である子どもたち（小学生）から、多様な意見や声を聴取する。
主な意見	<p>何して過ごしていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まんから・ドーナツゲーム・レゴ・〇×ゲーム・なんじゃもんじゃ、ウノなどのカードゲーム・野球、サッカー、バスケ・おにごっこ・ボール、フリスビー・ビオトープで虫探し <p>やってみたいことはありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント（お楽しみ会・〇〇王決定戦・クイズ大会・遠足） ・おやつ ・おもちゃ（野球盤・サッカー盤・カードゲームなど）や漫画、工作の充実 ・なんでもできるといい ・喧嘩もけがもない安全な児童館 ・遠足（ディズニーランド・花やしき）お泊り ・学校対抗スポーツ大会、タイピング大会 ・有名選手に会いたい（大谷選手・堂安選手） ・遠足（ディスコ・沖縄・USJ） ・マインクラフトのキャラクターになってみたい

名称	済美子ども会議（にこにこみーていんぐ）
対象	小学生
参加者数 （区民）	10名
開催日時	令和5年3月13日（月）午後3時30分～4時
場所	済美小学校 視聴覚室
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「放課後等居場所事業」の検証に資するため、子どもたちに児童館再編の取組を説明した上で、利用者本人である子どもたち（小学生）から、多様な意見や声を聴取する。
主な意見	<p>小学校の中で放課後等居場所事業を実施していることについて</p> <p><良いと思うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お家の人がいなくても、そのまま遊べて便利。安心。 ・帰った後も来られる。 ・お弁当も食べられる。 <p><楽しいと思うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなものがある（人形）いろいろな事ができる（工作・ダンス） ・お便りでイベントがわかるのがいい。 ・学童クラブでやってない事ができるのがいいから（ダンス・校庭遊び・・・） ・校庭では、遊具で遊べるし、ドッジボールや鬼ごっこもできるから。 <p><児童館でできていたことについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・せいびニコニコひろはば小学校だから赤ちゃんは来られない。児童館は赤ちゃん専用のお部屋があって、そこで遊んだり、時々小学生も一緒に遊べるからいいと思う。 <p><利用したいときはどんな時か></p> <ul style="list-style-type: none"> ・気分。 ・やりたい事がある場所に行く ・天気（雨なら児童館）。 ・友達に誘われた方に行く。 <p>放課後等居場所事業以外では、どこで遊んでいますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園（友達を約束して行く。一人で行くこともある。そこで誰かいれば一緒に遊ぶしいなければ家に帰ったり、児童館に行ったりする。） ・家（オンラインで友達とゲームをする。） ・堀ノ内東児童館（家が近い。） <p>どういう遊び場があったら行きたいと思いますか？</p>

- ・好きな事が出来る場所。
- ・友達と一緒に、自分のスイッチやアイパッドを持って行って遊べる場所。
- ・裁縫、工作、木工、クッキング、トミカなど、自分が作りたいものが作れる所。

児童館を知っていますか？行ったことありますか？

- ・知らない。
- ・堀ノ内東児童館は知っている。よく行く。(一輪車が楽しい。ピアノが使える。ボードゲームやおままごとなど玩具がいっぱいある。自転車で行けるのが便利。公園で遊んでいて、雨が降って来たり寒くなってきたら児童館の中に入って遊べるのがいい。一度帰宅してから行くのが少し面倒。幼児さんの部屋もあるから、小さい子にはいいと思う。)

名称	東田子ども会議（おしえてワイドのこと：ワイドミーティング）
対象	小学生
参加者数 （区民）	8名
開催日時	令和5年3月14日（火）午後3時33分30分
場所	東田小学校 家庭科室
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「放課後等居場所事業」の検証に資するため、子どもたちに児童館再編の取組を説明した上で、利用者本人である子どもたち（小学生）から、多様な意見や声を聴取する。
主な意見	<p>小学校の中で放課後等居場所事業を実施していることについて</p> <p><良いところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・便利、来るのが楽 ・暇なとき、お母さんがいないとき、来られる。 ・宿題もできる。（児童館ではうるさくてできなかった。小さい子の泣き声など） ・一人で行ける。 <p><利用したいときはどんな時か></p> <ul style="list-style-type: none"> ・気分を選んでいる。 ・楽しそうなイベントがあるとき ・体育館で遊びたいとき ・新しいおもちゃが入ったとき <p><児童館でできていたことについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達（小学生）だけで遊べる方がいい！×3 ・小さい子には癒される。 ・色んな中高生がいても大丈夫。 ・卒業した6年生に会えるのはうれしい。 <p>放課後等居場所事業以外では、どこで遊んでいますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習い事（野球などいろいろ） ・友人と家の前や家の中で遊ぶ。 ・公園（梅里中央公園、東二公園、和田堀公園、わんぱく公園、飛行機公園） ・子ども・子育てプラザ成田西 <p>どういった遊び場があったら行きたいと思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンが使える。ゲームができる。 ・遊園地、水族館・動物と触れ合える ・バッティングドーム ・お菓子を持っていける

名称	桃二小子ども会議（おしえて！ももにランドのこと）
対象	小学生
参加者数 （区民）	11名
開催日時	令和5年3月15日（水）午後2時30分～3時15分
場所	桃井第二小学校 多目的室
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「放課後等居場所事業」の検証に資するため、子どもたちに児童館再編の取組を説明した上で、利用者本人である子どもたち（小学生）から、多様な意見や声を聴取する。
主な意見	<p>小学校の中で放課後等居場所事業を実施していることについて</p> <p><楽しいと思うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・けんかすることもあるけど楽しい ・多目的室で遊ぶこと、アリーナがたのしい ・ここに来て知らない友だちと遊ぶこと、ともだちが増えること <p><児童館でできていたことについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・おままごとが少ない、新しいおもちゃがなかなか入らない、料理教室、抹茶作り <p>放課後等居場所事業以外では、どこで遊んでいますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外で遊んでる（公園）⇒おにごっこ ・塾、習い事（プール等） ・家⇒ゲーム（スイッチ、ポケモンパック、マイクラフト）、タブレット、ゆっくり（のんびり）する、テレビを見る、兄弟で遊ぶ <p>どういう遊び場があったら行きたいと思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VRの世界（ボーカロイド）、カラオケ（歌を歌える所） ・児童館、図書館（マンガ図書館） ・おまつり、キャンプ、ボウリング ・超絶広くて、自然もいっぱいあって、スポーツもできて、ボルダリングもできて、おつも食べれる所 <p>やってみたいこと、やって欲しいことはありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強してる時に他の人がうるさいので仕切りが欲しい、静かに過ごしたい ・最近流行っている歌や音楽を聴きたい、歌を歌いたい、ライブ聞いてほしい ・ガンダムのプラモデルを持ってきて作りたい ・みんなで絵を書きたい（自分が好きな絵を書く）

名称	杉二小子ども会議（はっぴいこどもミーティング）
対象	小学生
参加者数 （区民）	8名
開催日時	令和5年3月15日（水）午後4時～4時40分
場所	杉並第二小学校 学習室
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「放課後等居場所事業」の検証に資するため、子どもたちに児童館再編の取組を説明した上で、利用者本人である子どもたち（小学生）から、多様な意見や声を聴取する。
主な意見	<p>小学校の中で放課後等居場所事業を実施していることについて</p> <p><良いと思うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館で遊べる（決まった時間） 校庭で遊べる。 ・ランドセルのまま来られる。➡うれしい 自転車を使わなくて済む ・ラッキィGO（イベント）が楽しい ・決まった時間に帰れるから良い（時間に声かけてくれる） <p><楽しいと思うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンガが読める ・家にはないもので遊べる（友達がいるからできるもの） ・体を動かすのが好き（5人） ・違う学年の子と遊ぶようになった。 <p>放課後等居場所事業以外では、どこで遊んでいますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブ ・友達の家で遊ぶ（土日） ・公園で遊ぶ ・友達と遊べない時は、家でスイッチ（ポケモンGO） <p>やってみたいこと、やってほしいことはありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランコ ・野球ができる広いところ ・滑り台 ・はっぴいでポケモンGOがやりたい <p>児童館って知っていますか？行ったことありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はっぴいとの違いは、体育館の広さ。 ・ゲーム（スイッチ）ができる ・体育館がいつでも使える ・はっぴいタイムは（体育館で遊ぶとき）決まった遊びを準備してくれる。

名称	杉九小子ども会議（すぎくラブ子ども会議）
対象	小学生
参加者数 （区民）	7名
開催日時	令和5年3月16日（木）午後3時30分～4時
場所	小学校 家庭科室
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「放課後等居場所事業」の検証に資するため、子どもたちに児童館再編の取組を説明した上で、利用者本人である子どもたち（小学生）から、多様な意見や声を聴取する。
主な意見	<p>小学校の中で放課後等居場所事業を実施していることについて</p> <p><楽しいこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶものがいっぱいある。新しいおもちゃが増える。（外遊びの遊具も） ・体育館や校庭で遊べる。鬼ごっこ、ボール遊び、縄跳び、鉄棒が楽しい。 ・勉強（宿題）ができる。自分で勉強したい時間が決められる。 <p>やってみたいこと、やって欲しいことはなんですか？</p> <p><やりたいこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・演奏、大太鼓とかピアノも弾きたい。 ・校庭に自由に行ったり来たり、遊びの内容を選びたい。 ・おやつが食べたい。 <p><やって欲しいこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰りの時間に音楽を鳴らしてほしい。 ・サバイバルゲーム（ボール）がしたい。 ・自分の持ってきたおもちゃ（switchやカードゲーム、本）で遊びたい。 ・外に出る時間に遅れてきても、外に出て、好きな時に、校門を出てお散歩したりして帰ってきたい。 <p><児童館でできていたことについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行ったことある。 ・プラザもふらっと東原もいったことある。 ・阿佐谷・阿佐谷南・馬橋・天沼・高円寺南に行ったことがある。

名称	井荻子ども会議（ざりまるミーティング）
対象	小学生
参加者数 （区民）	15名
開催日時	令和5年3月16日（木）午後4時～4時40分
場所	井荻小学校 特活室
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「放課後等居場所事業」の検証に資するため、子どもたちに児童館再編の取組を説明した上で、利用者本人である子どもたち（小学生）から、多様な意見や声を聴取する。
主な意見	<p>小学校の中で放課後等居場所事業を実施していることについて</p> <p><良いと思うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランドセルを持ったまま行けるので、遊べる時間が増えた。 ・家におうちの人がいなくても来られるから安心。 ・自由な時間に帰れる。手軽に行きやすい。 ・宿題ができる。 ・ビブスがあるから、学年が判り易い。 <p><良くないところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の中だから狭い。 ・工作がいつでもできない。 ・ピアノが弾けなくて残念。 ・学童のように勉強の時間を決めて欲しい。 <p><利用したいときはどんな時か></p> <ul style="list-style-type: none"> ・気分。自分でどうしたいか決めている。 ・イベントがあればざりまるひろば、ない時は家で過ごす。家だとつまらないと思ったらざりまるひろばに行く。 ・ざりまるひろばはいつ行っても楽しいから来る。 ・習い事とかもあるから、来る曜日を決めている。 <p>どういった遊び場があったら行きたいと思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーソーやアスレチック遊具、風船の滑り台がある場所。 ・プラザの地下を乳幼児、1～3階を小学生から高校生の遊び場にする。 ・映画館、図書館、ゲームセンター、ROUND1みたいなところ、銭湯、回転ずし ・ニンテンドーがいつでもできる。 ・お料理教室とかやってほしい。

名称	新泉和泉子ども会議（いずみんなミーティング）
対象	小学生
参加者数 （区民）	6名
開催日時	令和5年3月16日（木）午後4時～4時45分
場所	杉並和泉学園 新泉和泉小学校 ランチスペース
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「放課後等居場所事業」の検証に資するため、子どもたちに児童館再編の取組を説明した上で、利用者本人である子どもたち（小学生）から、多様な意見や声を聴取する。
主な意見	<p>小学校の中で放課後等居場所事業を実施していることについて</p> <p><良いと思うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生がいなければ（学校とは違う場所になるので）ゆっくりできる。 ・クラス、学年に関係なく関わりをもてることがよい。 ・学校の中だけど、ビブスを着て切り替えて、違う気分で過ごせる。 ・公園で遊んでいるような気分にもなれる。 ・友だちと宿題ができる。 ・家より自由度が高い。友だちとマンガを読んだり、ゆっくりできる。 ・水曜日に校庭で遊べる。 <p><楽しいと思うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな性格の人がいて面白い。 ・友達と一緒にオリジナルのゲームを作るのが楽しい。 ・普段できないような、自分たちが作ったり、描いたりしたもので遊べる。 ・ボードゲーム、パーティーゲーム、かたきなどいろいろな遊びができて楽しい。 ・本は一回読むと新鮮さがなくなって、あまりやることがないと感じる。 <p>どういった遊び場があったら行きたいと思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大アリーナみたいな広い場所 ・カラオケ、ボウリングができる ・お金がかからない遊び、色々な遊びができる場所 ・祭りや屋台 ・勉強を習いたい ・自由に食べたりできる場所 <p>中学生になったら、放課後はどのように過ごしたいですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家でゲームを存分にしたい。 ・中学校にもいずみんなを作りたい。

名称	浜田山小子ども会議（はまきちレヴェリー）
対象	小学生
参加者数 （区民）	13名
開催日時	令和5年3月17日（金）15時35分～16時10分
場所	浜田山小学校 第1理科室
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「放課後等居場所事業」の検証に資するため、子どもたちに児童館再編の取組を説明した上で、利用者本人である子どもたち（小学生）から、多様な意見や声を聴取する。
主な意見	<p>小学校の中で放課後等居場所事業を実施していることについて</p> <p><良いと思うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなあそび、イベントができる。 ・幅広い学年の友達とかかわりが持てる。 ・体育館や校庭で遊べる。 ・学童はイヤな時でも行かなきゃいけないけど、はまきは違って好きな時に行く。 ・すごく便利！ 児童館の時は、（直接来館の）登録が必要で、毎回紙を書いた。 ・はまきは、○をつけるだけ。 <p><利用したいときはどんな時か></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で行くと決めている。 ・友だちと決めている。 ・一度家に帰ってから…3人 ・学校から直接…11人 <p><楽しいと思うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館でドッジボールができる。 ・ポケモンカード（2人）ワンピースカード（5人） ・ゴースロー（ボードゲーム）・人狼・バンド（3人）・バスケ ・学年間問わずはまきちで仲よくなった違う学年の人と遊べる ・初めましての人でも自分からぐいぐい1～6年の人がいるので、一緒に遊べる。 <p>放課後等居場所事業以外では、どこで遊んでいますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラザ（ゲームなど） ・電車の駅 ・自分の家 ・公園 ・道路（おしゃべりしてる） <p>どういった遊び場があったら行きたいと思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料でゲーム（switchなど）ができる屋内の場所

- ・全てのカードができるところ。
- ・畳のあるところ→遊びやすい、柔道をしたい
- ・体育館（学校だと時間に制限があるため）
- ・マンカラができるところ
- ・ピアノが弾けるところ
- ・建物があって、中でも遊べる公園
- ・屋内で、スタジオなど設備がそろっているといい。

児童館って知っていますか？行ったことありますか？

- ・名前くらい知っていた。
- ・学童に行っていたとき、児童館に来ている人を見ていた。
- ・0～3歳くらいの時行っていた。
- ・料理とかゲームとか規模が小さいからできた実験や料理が楽しかった。
- ・大人が少なかったからボール遊びとかでズルをした。
- ・ベランダから保育園の幼児としゃべったりした。
- ・自分のカードを持って行けた。

やってみたいこと、やってほしいことはありますか？

- ・自分のカードを持ってきたり、組まれたカードでなく、デッキを作って遊びたい。
- ・ゲームをいっぱいしたい。
- ・ゲームなどの学年の制限をなくしてほしい。（ゲームによって〇年生以上等決まっているので）みんなで遊びたい。
- ・ビブスはいらない。
- ・学校のプールを使って水泳をしたい。
- ・ポケカ大会

名称	桃三小子ども会議（おしえてスマイルスクールのこと！スマイルミーティング）
対象	小学生
参加者数 （区民）	8名
開催日時	令和5年3月17日（金）午後3時30分～4時
場所	桃井第三小学校 パソコンルーム
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「放課後等居場所事業」の検証に資するため、子どもたちに児童館再編の取組を説明した上で、利用者本人である子どもたち（小学生）から、多様な意見や声を聴取する。
主な意見	<p>小学校の中で放課後等居場所事業を実施していることについて</p> <p><良いと思うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の児童館は遠かった。学校から直接行けて楽。 ・いろいろなおもちゃがあつたのしい。マンガの種類が多い。 ・ハンドメイドクラブ（工作行事）が楽しい。 ・家で作れない工作ができて楽しい。 <p><良くないところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・うるさくしてはダメ。宿題しているときうるさい。 ・門でインターホンを押してから、職員がお迎えに来るまで長い。 ・校庭や体育館の時間が短い。 ・自転車置き場が欲しい。 ・タブレットが使えないなど制限が多すぎる。 <p><児童館でできていたことについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・弟（乳幼児の兄弟）といっしょにあそびたい ・気を使わなくてよい。 ・年下はうるさいからいや。赤ちゃんがいるとうるさい。 <p>やってみたいこと、やってほしいことはありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートボックスの返事が欲しい。 ・テレビが欲しい。ソファが欲しい。 ・日曜日も来たい。 <p>放課後等居場所事業以外では、どこで遊んでいますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関根公園、わかば公園、たんぼぼ公園、児童館 ・習い事、塾、学童クラブ ・家でカードゲーム、友達の家 ・どこであそぶかは自分の予定（宿題の出来具合）や家の人と相談して決めている。

名称	高円寺子ども会議（おしえてえんじーのこと）
対象	小学生
参加者数 （区民）	8名
開催日時	令和5年3月20日（月）午後4時～4時45分
場所	高円寺学園 高円寺小学校 家庭科室
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「放課後等居場所事業」の検証に資するため、子どもたちに児童館再編の取組を説明した上で、利用者本人である子どもたち（小学生）から、多様な意見や声を聴取する。
主な意見	<p>小学校の中で放課後等居場所事業を実施していることについて</p> <p><楽しいと思うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・逃走中、ボードゲーム、大縄、おりがみ、塗り絵、本、レゴ、マンカラ、鬼ごっこ、サッカー、かけっこ、玉入れ、野球、お昼寝など ・学校の遊具で遊びたい。（雲梯、鉄棒、登り棒） <p><良くないところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃが少なくて取り合いになってしまう。 ・部屋が狭い。 ・工作じゃないこともやりたい。 <p>放課後等居場所事業以外では、どこで遊んでいますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園（みどり公園、北公園、馬橋公園） ・家、友達の家、おばあちゃんの家、 ・ゲーム、勉強、宿題、テレビ、かくれんぼ、ブランコ <p>どういった遊び場があったら行きたいと思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやつが食べられるところ。 ・おままごとがやれるところ。 ・映画館みたいなどころ。 ・学童クラブのお部屋で遊びたい。 ・魚釣りが出来るところ。 ・おやつなどが作れるところ。 <p>児童館って知っていますか？行ったことありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生になってからは行ったことがない。 ・遠いし場所が分からない。

名称	桃五小子ども会議（スマイル子ども会議）
対象	小学生
参加者数 （区民）	7名
開催日時	令和5年3月22日（水）午後3時50分～4時50分
場所	小学校 家庭科室
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「放課後等居場所事業」の検証に資するため、子どもたちに児童館再編の取組を説明した上で、利用者本人である子どもたち（小学生）から、多様な意見や声を聴取する。
主な意見	<p>小学校の中で放課後等居場所事業を実施していることについて</p> <p><良いと思うこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内でいい 便利 <p><良くないところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童と合体したらどうか、学童と合同である日があるといい ・靴を脱いだりするのが大変。ルートを見直してほしい。 ・スマイルはもっと部屋を増やしてほしい（静かな部屋 体動かす部屋） <p><児童館でできたことについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館は小さい子のおもちゃが多かったから小学生用のおもちゃがあるといい。 ・小さい子とあそぶのも楽しい <p>やってみたいこと、やって欲しいことはありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっとイベントがあるといい、ジャグリングタイムを増やしてほしい ・おもちゃ 飽きてしまうから曜日ごとに入れ替えをしたらいい ・体を動かしてあそびたい ・料理、お菓子作りがしたい、おやつを出してほしい。 ・プラズマカー、ペダルローラーの時間を増やしてほしい ・あそびの部屋と静かに過ごすへやに分けてほしい ・ゲームやタブレットを使えるようにしてほしい ・折り紙の使える枚数を増やしてほしい ・もっと自由にしてほしい ・プログラムの曜日や時間は、子どもたちにアンケートをとって決めたら、あそびにくる子が増えると思う ・あそびスペースを広くしてほしい（2階もあそべるようにしてほしい） ・スペシャルな時はルールも変更したら楽しい（仮装OK 利用時間延長） ・床を柔らかい素材にしてほしい ・部屋の飾り付けをしたい ・公園にみんなであそびに行きたい ・たくさんのおもちゃの中から自分で決めたい

放課後等居場所事業以外では、どこで遊んでいますか？

- ・家
- ・公園
- ・うんてい、ブランコ、ターザンロープ、鉄棒、滑り台、たこあげ、はねつき
- ・ボール（バスケ、サッカー、中あて、ドッジボール）バドミントン、どかん

どういう遊び場があったら行きたいと思いますか？

<運動系>

- ・学校にない遊具がある公園（ブランコ シーソー 滑り台 バスケットコート）
- ・動き回ったり、スポーツができる場所 走れる場所
- ・専用の公園（ひとつのあそびに特化した）
- ・アスレチックがたくさんあるところ
- ・紙ヒコーキを飛ばせる場所
- ・マットや跳び箱がある場所
- ・季節ごとに楽しめる公園やイベント（夏は水遊びなど）

<イベント系>

- ・英語を習いたい
- ・料理ができるところ
- ・キャンプ・ピクニック専用スペースのある公園
- ・ダンスができる場所

<くつろぎ系>

- ・静かにできるところ（休憩）
- ・集合場所になるところ
- ・お弁当やおやつを食べる場所
- ・くつろげる場所

<その他>

- ・机付きのベンチ（読書）
- ・ゲームし放題できる場所
- ・ボウリング

コミュニティふらっと永福の利用に関する意見交換会における主な意見

名称	コミュニティふらっと永福の利用に関する意見交換会（中高校生）
対象	コミュニティふらっと永福を利用している中学生・高校生
参加者数 (区民)	中学生 10名 高校生 8名
開催日時	令和5年3月3日 及び 令和5年3月9日
場所	コミュニティふらっと永福 3F
意見交換会 の目的	児童館再編の取組により展開した「中・高校生の新たな居場所づくり」の検証に資するため、中・高校生が児童館やコミュニティふらっと永福をどのように捉えているか等について、コミュニティふらっと永福を利用する中・高校生の声を聴取する
主な意見	<p>児童館を利用していたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブに小4まで在籍していた。 ・小学生の頃、たまに利用していた。 ・児童館にはいったことがない。 <p>普段どう過ごしているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後は部活がある、休みの日は図書館で勉強したり、友人とゲームしたり。 ・家で動画を見て過ごしている。 ・体育館にいたり、公園でバスケをしたり。 ・区外に行って遊ぶ子も多い。 <p>ふらっとではどう過ごしているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習目的で利用している。家では集中して勉強できないので、学校帰りや部活（ハンドボール部）帰りに受験勉強するためにきている。 ・2週間に1回利用。雑誌をよんだり漫画を読んだり、課題をやったりしている。 ・テスト期間中利用。ファミレスで勉強するとお金がかかるので助かる。静か、トイレがある、自販機がある、なので外に出ずに過ごせて良い。 <p>悩みや困ったことを相談できる人はいるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いる（親・先生・友人） ・親や友達に相談できる。 ・家族とは良く話す方で悩み事や困ったことも話せる。学校の先生にはあまり話せない。 <p>どんな遊び場があるといいか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆう杉並を知っているが混んでいる印象。自分の近所にも同じような施設を増やしてほしい。 ・中高生が存分に運動できる芝生の公園がほしい。砂のところは風に左右される。 ・もっと勉強スペースがある居場所を増やしてほしい。

- ・思いっきりスポーツができる施設があるといい。予約をして使うのではなく、いつでも使えるといい。

<その他>

- ・静かなところを求めているひとがいる中で、運動している人がいるというのは、難しいのではないか。
- ・勉強も遊びもできるといった様々なニーズが集まる施設は難しいのではないか。
- ・全ての人を対象とした施設を作るより、利用目的や利用者層を絞ったものが作った方がいいのではないかと思う。

地域連携に関する意見交換会における主な意見

名称	地域連携に関する意見交換会（母親クラブ）
対象	杉並区で活動している母親クラブ代表者
参加者数 （区民）	8名
開催日時	令和5年3月3日 午前10時～午前11時30分
場所	児童青少年センター ゆう杉並 第2集会室
意見交換会 の目的	子ども・子育てプラザに継承した地域連携の取組の検証に資するため、地域連携の役割が児童館から子ども・子育てプラザに移ったこと等について、長年にわたって児童館と連携して地域組織活動を行っている母親クラブから意見等を聴取する。
主な意見	<p>地域連携や母親クラブの活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館では、小学生向けの活動や、幼児親子向け（主に親向けにリフレッシュしてもらうような内容）の活動をしてきたが、子ども・子育てプラザになり、乳児の利用が非常に多いことに驚いた。 ・放課後等居場所事業が始まった当初は、小学校内に行き慣れておらず戸惑った。 ・子ども・子育てプラザが開所した当初は、小学生にとっては、乳幼児専用の施設という認識があり、小学生の利用が少なかったが、1年ほど前から小学生の利用も増えてきた。 ・児童館では、そこに小学生の姿があり、子どもの顔が見え、やりたいことはなにか、という生の声も聞けたが、放課後等居場所事業になり生の声は聞きづらくなった。小学校内での活動の実績もできてきて、少しずつ不安も解消されている。 ・子ども・子育てプラザでは、乳幼児親子の声は少し聞けるようになった。 <p>地域連携の役割が子ども・子育てプラザに移ったことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの子ども・子育てプラザで受け持つ地域が多くなり、訪ねても職員が放課後等居場所事業等に出かけていて不在のことが多く、忙しそうな印象を持っている。 ・この2年は新型コロナウイルス感染症の影響で、地域連絡会が十分に開催されていない。 ・児童館は低学年の子が利用しているイメージがあるが、おまつりなどの行事では色々な小学校の子や保育園児も参加して、一緒に遊んでいる姿が見える。また、近隣児童館との交流も行われている。地域の人が入った行事もあり、様々な人が顔を合わせられるところがいい。 ・児童館で、あきまつりの代わりにウォークラリーを実施した。チェックポイントの図書館では、久しぶりでいいねといった声や、自分もやりたいという子どもの声があった。地域で行う行事があるのもいいところである。 ・放課後等居場所事業でも、地域行事（おまつりなど）やブロック行事（ドッジボール大会など）に参加している。

もし、自身が活動している地域の児童館が再編されたらどうか

- ・ここ10年くらいで、児童館は、学童クラブの子が主となった。一般来館の子が気軽に遊びに来たり、放課後に児童館で待ち合わせて遊ぶ、ということが減り、母親クラブとして子ども達に向けて行ってきた活動ができなくなったと感じている。全ての母親が就労しているわけではなく、家庭にいる母もいるが、その母たちが交流する場もなく、新たな人間関係を築く場がなくなったことは、地域の子育てにとってデメリットであると思う。多世代が交流できる施設（コミュニティふらっと）ができることによって、それがうまく機能できればいいと思う。
- ・コミュニティふらっとは、小学生にとっては入りにくさがあるようだ。
- ・乳幼児親子は、児童館ではなく、子ども・子育てプラザを利用すべきなのかと思っている人もいるようで、児童館の利用が減ったように感じる。
- ・高円寺地域は、保育園、幼稚園、児童館など近くにあるため、地域連携がうまくいっていると思う。
- ・子どもの育ちという視点で見た時に、児童館は0歳から18歳まで様々な年齢の子が集まるため、子どもにとっては、色々な人がいる、ということに気付き、保護者にとっては、子育て（育ち）の見通しが持てる。同じ空間にいることによって、世代を超えた育ちが見えるということが重要ではないか。学校内に居場所が移る、ということは、子どもにとって選択肢がないことの影響を考えるべきである。児童館があれば、地域の中で遊ぶ場所を自分で選択できる。学校内の居場所もあればよいが、それ以外の場所もあった方がよい。
- ・子どもの声を聴いてほしい。

地域の捉え方について（小学校区単位か、中学校区単位か）

- ・中学校区単位だと思う。小学校から中学校に上がっても見守ってくれる大人が地域にたくさんいる状況があるのがいい。
- ・私立中学校に進学しても、その子は地域に住んでいて、幼稚園、保育園、小学校の時の友達とのつながりがある。やはり中学校区単位かと思う。

杉並区青少年問題協議会における主な意見

名称	令和4年度杉並区青少年問題協議会<第2回>
対象	令和4年度青少年問題協議会委員
参加者数 (区民等)	12名
開催日時	令和5年3月27日(月)
場所	各視察先での聴取(杉九学童クラブ及び放課後等居場所事業、子ども・子育てプラザ成田西、コミュニティふらっと永福)
目的	施設再編によって変化した子どもの居場所を視察し青少年問題協議会委員へ意見を求めた。
主な意見	<p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">杉九学童クラブ・放課後等居場所事業(愛称:すぎくラブ)について</p> <設備環境面> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらの施設も環境に恵まれており、特に目立った問題は見受けられなかった。 ・問題を抱えながらも運営している施設もあると聞くが、施設的に差があり過ぎるのはよろしく無いと考える。 ・学校内にあり、安全面はとても良く、広さも設備も明るさも十分だと思う。 <運営面> <ul style="list-style-type: none"> ・隙間の空間や本がたくさんあって、人と交わりたくない時も一人でいられる空間があって良いと思う。 ・利用人数に対しても(外遊び中であつたとは思いますが)人手は足りていると感じられる。 ・それぞれの子どもがやりたいことを選べる(何もしないことも含めて)ことが保障され、第三の居場所として機能していることが見て取れた。 <相互の交流・関係について> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭で両方の子どもたちが一緒に遊べるのも良いと思う。 ・学童クラブの受け入れ枠を増やす取り組みは今後も重要であり、学童クラブと放課後等居場所事業を連動させた居場所づくりは理にかなっていると言える。 <その他> <ul style="list-style-type: none"> ・近年は体を動かすことが、苦手な子供の数が増加傾向にあり、家でのゲーム時間も多くあるので、ぜひ広い空間のある場所の確保を準備しておいて、どの様に対応して、良い結果をだせるかが課題であると思う。 ・学校内だと近隣の私立に通っている人は学童に入りづらいのかもと思う。 <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">子ども・子育てプラザ成田西について</p> <立地> <ul style="list-style-type: none"> ・区全体を通して、アンケートにもあるように、子ども・子育てプラザへのアクセス

良し悪しはありそう。

- ・7カ所ということだが、地図上で見ても隙間を感じるエリアがある。その辺りのニーズや意見等を集める事も必要。
- ・どの地区にも、歩ける範囲もしくはすぎ丸で行けるように工夫をお願いしたい。

<設備環境面>

- ・成田西の施設に関しては、全体的にバランスがいい印象。
- ・施設はリフォームされて、快適そのものと思える。マタニティの方への取り組みも始められていて、充実した施設であると感じられる。
- ・一時預かりを同じ建物内で行っていて、いるところが良いです。孤立した子育てをされていらっしゃる方が多いなかで、交流・相談・一時預かり機能もふくめて同じ建物内にあることは、利用しやすさにつながると思う

<運営面>

- ・母親父親学級を子ども・子育てプラザで実施しているところがとても良い。子どもが生まれてから初めてプラザに通うよりも、事前に行ったことがあれば、利用のハードルが下がり、利用しやすい状況を生み出している。
- ・父親参加を促すプログラムがあり、こういった点でも配慮が行き届いており、工夫がなされている。
- ・掲示板は、さまざまな意見をバランスよく掲載されており、とても工夫されている。

<再編について>

- ・プラザは小学生が利用できる拠点であることも魅力的で、学童であれ、放課後等居場所事業であれ、家の近くに安心できる場所があることが大切だと考える。
- ・保育園も拡充して、児童館をプラザにして、乳幼児は手厚く、小学生は校内で安全に、では中学生はどこに行けというのだろうとも思う。
- ・施設利用の連続性が無いので、プラザの中に中高生タイムや場所があっても、知る機会はありません。
- ・中学生の放課後の居場所・過ごし方を考えなければネットやゲームに浸ってしまう時間が増えるように、子どもたちが大きくなった時にも見捨てないサービスがある施設を早く作ってほしいと思う。

コミュニティふらっと永福（中高生の居場所）について

<設備運営面>

- ・図書館との複合化なのでたくさんの目もあり、子どもも安心してラウンジ使用が出来る。図書館の施設改修や新築の場合には、コミュニティふらっととの複合化をぜひ検討していただきたい
- ・スペースを分け合っているからこそ見張られている感じもなく大人の目がある施設は、小学生高学年や中学生にとって貴重だと思う。困った時には大人の助けがある

	<p>という安心感は、変え難いと思う。</p> <p><運営面></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生向けの情報発信、イベント告知のパンフレットなどが色々置いてあるのもとても良い。 ・清潔でおしゃれなカフェのような雰囲気であることもあって、一人で勉強したい子も、おしゃべりしたい子も、利用したいと思える場所になっている。 ・多世代の方々が利用できる施設だと、高齢者利用がメインになりがちだが、若者ウエルカムの雰囲気が随所にあり、YA世代が利用しやすい場所になっていると感じた。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・区在住の中・高校生の利用とのことですが、例えば複数人利用で1人でも杉並の生徒がいれば利用できる等、施設を利用したい子ども達を受け入れて欲しい。 ・(もっと) PRを多くして、区民にその存在を知ってもらい、利用してもらう必要があると思う。 <p>その他、児童館再編の取組全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後居場所事業に関するアンケートについて、『どちらとも言えない』という回答が目立っている。回答者の持ち合わせている必要な情報が均一でない、賛成や反対の理由について判断が困難であると感じる。もう少し情報を提供した上で意見を求めるなど、中立的な立場からのアプローチが必要と感じる。 ・子どもの居場所づくりが学校の敷地内に作られているのは、利用価値・頻度ともに有意義なことと思う。 ・児童館が再編され別々の施設になるのならば、各地域に早く偏りなく乳幼児・小学生・中高生の居場所を配置してほしい。乳幼児まではサービスがいい、でも大きくなったら・・・と不安にさせてはいけない。 ・こどもたちが駆け込みやすい入りやすさも必要。
--	--

名称	令和5年度杉並区青少年問題協議会<第1回>
対象	令和5年度青少年問題協議会委員
参加者数 (区民等)	17名
開催日時	令和5年7月3日(月)午前10時~正午
場所	杉並区立児童青少年センター(ゆう杉並) 集会室
目的	施設再編の取組の検証について青少年問題協議会委員へ意見を求めた。
主な意見	<p>児童館再編の取組の検証について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館が再編された地域では、世代間交流がなくなったという意見がある。また、公園では小・中学生が一緒に遊んでおり、交流できていると思う。乳幼児の保護者は、多少家から離れた場所であっても遊びに連れていっているように感じるが、小

- 学生は子どもだけで移動するので、家から遠いのは行きづらいのではないかと思う。近くに垣根無く入っていける場所が必要。それが児童館だった。
- ・民生委員でアンケートを行ったが、「小学生も乳幼児と一緒にプラザを利用できたらよい」「発達がゆっくりな子の親子が、安心してゆっくりと集まれる場があるとよい」といった声があった。発達がゆっくりな子の保護者は、子育てに不安を感じている方もいるが、そういった方が集える場はあるのか。
 - ・4年生になると学童クラブに入れないという声をよく聞くが、学校内に移転することで学童クラブに入れる子の数は増えたのか。
 - ・児童館再編の取組が一旦休止していることにより、地域によっては、学童クラブは学校内に移転したが、児童館は残っている状況がある。学校内学童クラブと児童館、というように、放課後等に過ごす場所が離れてしまうことで、学童クラブに入っている子どもと入っていない子どもと一緒に遊べない状況が生まれてしまっている。
 - ・保育園の待機児童対策を行った際、待機児童を解消するために民間の保育園を増やした結果、保育は「サービス」になってしまった。児童の健全育成はサービスではない。サービスに慣れてしまった保護者が学校にもそれを求め、満足がいかないと学校へのクレームという状況を招いていると感じる。
 - ・区としての子どもの居場所として大事にしている部分などは、どう事業者に伝え、定期的にチェックしているのか。
 - ・中学生の放課後の過ごし方について、先生方の働き方改革などの観点もあり、部活動をどうするかという議論もある。小学生が放課後等に学校内で過ごす居場所を作れるのであれば、中学生の放課後等の居場所も学校内に作ることができないのか。小学生と全く同じ形でなくてもよいが、部活動とも関連させてどうあるべきかを考えていただきたい。
 - ・児童館は、色々な子を受け入れられる器の大きな施設であったのだろうと思うが、実際は乳幼児親子や中・高校生にとっては利用しにくい状況もあったのだろうと考える。子ども・子育てプラザやコミュニティふらっと永福を視察させていただき、子ども・子育てプラザでは、乳幼児親子が安心して利用できているのが見て取れた。また、ゆう杉並やコミュニティふらっと永福は、年齢層に応じた居場所が作られていると感じた。小学生の居場所としては、学校内であると安全・安心を感じられる。不登校の子どもや発達障害がある子どもも、インクルーシブで行きやすい居場所としていく必要があり、そこでは職員の高い専門性が求められる。
 - ・児童館で、障害がある子や家庭の状況に問題がある子などの対応について、関わることがあった。刺激に弱い子どもは、児童館という狭い空間の中で問題を起こさざるを得ない状況もあったかと思う。再編後の課題も様々あり、また改善も必要となる。再編したら終わりではなく、課題をしっかり受け止めてより良い居場所としていていただきたい。
 - ・今後のより良い子どもの居場所づくりの検討にあたっては、児童福祉法の改正など、子どもの意見をより丁寧に聴くことが必要となっているのでしっかりと子どもの意見を聴いていただきたい。

現場職員へのヒアリングにおける主な意見

名称	現場職員へのヒアリング（子ども・子育てプラザ）
対象	子ども・子育てプラザ所長、児童健全育成連携担当係長、子ども・子育てプラザ職員、（プラザ化を予定している児童館館長、職員含）
参加者数 （職員）	12名
開催日時	令和5年4月18日 午前9時半～午前10時30分
場所	児童青少年センター ゆう杉並 集会室
目的	子ども・子育てプラザ（乳幼児親子を主たる対象としていること）について及び地域子育てネットワーク事業をはじめとする地域とのつながりに関して現場職員が感じていること、捉えていることを聴取する。
主な意見	<p>プラザ（乳幼児親子を主たる対象としていること）のメリットと感じていること、デメリットと感じていること、課題と捉えていることについて</p> <p><メリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳児、1歳児の保護者にとって、色々な保護者と交流でき、育児の情報交換ができる場になっている。 ・プラザは乳幼児親子にとって、どの時間帯でも遊びに来られるというのが最大の利点と感じている。0歳児、1歳児が安心して遊べる場所であり、育児に関して不安に感じた時に話を聞いてくれる職員がいることも利点である。 <p><デメリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・（規模が小さいプラザでは）3歳児以降、プラザから少し離れた地域に住んでいる利用者から、利用しづらくなったとの声を聞くことがある。 ・つどいを実施する中で、児童館（ゆうキッズ）はコアメンバーでつどいを行っていたと思うが、プラザは毎回メンバーが変わる。横のつながりがなかなかできない難しさがあると感じている。 ・中・高校生の居場所が地域になくなったことが課題と感じている。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の頃からプラザを利用していても小学生になると使えなくなるというマイナスなイメージを持っている保護者が多い。プラザも利用できること、放課後等居場所事業も使ってもらおうようPRしている。 ・妊娠前からプラザを知っていたかという、知らなかった方も多い。知っていたら妊娠中から利用していた、という声もあるので、PRが課題と考えている。 <p>地域子育てネットワーク事業をはじめとする地域とのつながりに関し、課題と捉えていることについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育てネットワーク事業を2か所、3か所と抱えているプラザは、連携を拡げるにあたり、どこまで地域行事等に関わっていくか、など課題が多いと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を捉える時の地域の考え方は整理が必要だと思う。引き継いだ小学校区のベースと利用者の多いエリアが異なり、子どもセンターや保健センターと連携する中で、難しさやカバーしきれなさを感じる。 ・よりよい子どもの居場所を検討する際には、地域の区分けの整理等も必要であると考えている。子どもの成長のつながりと地域のつながりを考えた時に中学校区程度が地域として適切かなど、整理したい。 ・地域によって、行事に関わってくださっている方が違う。画一的な整理は難しいのではないかな。
--	---

名称	現場職員へのヒアリング（放課後等居場所事業）
対象	放課後等居場所事業リーダー
参加者数 （職員）	14名
開催日時	令和5年4月20日 午前10時～午前11時15分
場所	児童青少年センター ゆう杉並 集会室
目的	放課後等居場所事業の利用者アンケートの項目に沿って現場職員が感じていること、捉えていることを聴取する。
主な意見	<p>居心地の良い安心・安全な場所の提供について</p> <p><達成できたこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内で移動して利用できることで、保護者は安心している。 ・体を動かして遊びたい子ども、マンガを読んでいるだけで過ごす子どもなど、子どもそれぞれの使い方ができる。 ・授業が終わってランドセルのまま来られることで、たった5分でも立ち寄りたり、待ち合わせに使える。 <p><気づきと課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録人数・利用人数が増え、手狭になってきた。使えるスペースが限られているので分散させられない。 ・室内に水場がない、学校行事や天候などで活動に制限が出てしまう。 ・利用するにあたって門扉の開け閉めが来所のハードルとなったり、上履き使用が必須のため、昇降口の下駄箱で出し入れすることなどが大変である。 <p>子どもが主役の多様な遊びの援助について</p> <p><達成できたこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的を持って来ている子、持っていない子、イベント目的の子どももいる。 ・プログラムを組む時から子どもの意見を聞き取り入れている。 ・（施設特性を活かしながら）子どもの遊びの幅を広げている。 <p><気づきと課題></p>

<ul style="list-style-type: none"> ・静かに勉強したい子どもにとっては、うるさいと感じる。静かなスペースが欲しい。 ・(もっと) 高学年が体を動かす場所になればよい <p>子ども同士の交流や仲間づくりの支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自分で遊べている。イベントも子どもメインで組めるようになった。 ・学童クラブとの交流を進めることについて、特に高学年からは「学童クラブの子と一緒にいたくない」「スペースや時間を分けてほしい」という声がある。放課後等居場所事業と学童クラブの役割がわからなくなる。 <p>スポーツ、文化・創作活動など様々な体験活動の提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存のプログラムの活用は、講師の設定時間と体育館が使える時間が合わず、活用が難しい。 ・外部講師を呼ぶイベントは3年生以上にしたが、参加が少なくなりがち。 <p>地域全体で健全育成を進める環境づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生がつながって地域で育ち、大人が支援をしていくことに関わっていきたい。中学生と何らかの形で関わりたい。 ・PTA や保護者に講師をお願いしたりしているが、今後おたより等で広く募集したい。

名称	現場職員へのヒアリング (校内学童クラブ)
対象	令和2年以降に校内へ移転した4学童クラブのクラブ長・職員
参加者数 (職員)	6名
開催日時	令和5年4月20日 午前11時15分～午前12時
場所	児童青少年センター ゆう杉並 集会室
目的	校内学童クラブの現場職員が感じていること、捉えていることを聴取する。
主な意見	<p><達成できたこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内にあることで安全性・利便性が高い。 ・支援の必要な子も先生と一緒に来所しやすい。 ・校庭は使用できないが、体育館が使えているので大きく困ることはない。 ・校庭や体育室で居場所利用の児童と一緒に遊ぶことが出来ることが良い。 <p><気づきと課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等で校庭・体育館などが使えない時がある。 ・育成室が狭い。 ・学校でのトラブルを引きずったまま来所することがある。学校との連携がとても大切だと思っている。

名称	現場職員へのヒアリング（児童館）
対象	上高井戸、荻窪、高円寺南、四宮森、西荻南の5つの児童館の館長及び職員
参加者数 （職員）	13名
開催日時	令和5年4月13日～4月27日の間に、対象児童館で実施
場所	対象児童館
目的	国の児童館ガイドラインに沿って現場職員が感じていること、捉えていることを聴取する。
主な意見	<p>遊びによる子どもの育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブの入会児童が増加していることから、児童館を一般利用する子どものためのスペースが減っている。 ・高学年の子どもが遊びに来ても、館内には学童クラブの低学年の子どもが多いため、利用をためらってしまう。 ・職員体制の関係から、外遊びになかなか連れて行けないため、遊びの選択肢が広がらない。 <p>子どもの居場所の提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブ児童が多く、一般来館の子どもたちの居場所が確保されているとはいえない。特に中・高校生は利用しにくい。 ・中・高校生のための時間帯を設けても、遊戯室の天井が低く、バスケットゴールが無いなど設備面の課題から、利用が進まない。また、コロナ禍で飲食の制限や、利用人数の制限により、中・高校生の利用が大幅に減少した。 ・中・高校生や小学校高学年の利用を促進するには、子どもへの接し方や利用を促す企画の組み方が必要。そのための具体的な研修や、子どもがいる場で関わり方を学べる館同士の交流が必要。 ・若者の居場所づくり等のサポートができていない。 <p>子どもが意見を述べる場の提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見箱を設置して、子どもからの意見を募ったが、フィードバックが十分にできていない。 ・中・高校生の利用が少なく、来館しても遊べるスペースが限定されており、意見は吸い上げるまで至っていない。 ・中・高校生になると、小学生の遊びと内容が違い、活動の幅も広がるので、ゆう杉のような施設でないと、その希望等に答えきれない。 <p>配慮を必要とする子どもへの対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館に遊びに来ない子で、不登校等配慮を必要とする子どもへのアプローチは課題。児童館でつかんでいない不登校の子の情報は、学校と連携して共有し、児童館に遊びにきてくれたときに温かく迎え入れるような取組を行っていきたい。

- ・SNSの利用を含めて、子ども同士の関係性が複雑化している中で、友人関係の悩みや課題を抱える子どもをいかに発見できるかが課題。
- ・障害がある子どもへの理解は、学童クラブでは進んでいるが、学童クラブ卒会後のかかわり方や、保護者、地域の理解、普及啓発には課題がある。配慮を必要とする子どもの中学生以降の居場所がない。

子育て支援の実施について

<保護者の子育て支援>

- ・妊産婦については、ほとんど利用がなく、利用促進の工夫が必要。
- ・育児の悩みや相談を適切な部署に繋ぐための職員のスキルの全体的な底上げが必要。
- ・SNSの発達や、共働き世帯の増加も一因となり、児童館を活動の場とする母親クラブ、子育てサークル、支援団体等の活動回数、団体登録数がともに減少傾向にある。
- ・児童が親への連絡を拒むなど、保護者との連絡・連携が難しいケースも多く、保護者支援という点では困難な面がある。

<乳幼児支援>

- ・0歳児で抱っこやベビーカーで移動する親子は、歩いて行ける距離に児童館等の施設があることが大切。自転車や公共交通機関を使って移動が必要な距離では行きづらい。
- ・「生まれてすぐから」のゆうキッズスタートに重点を置いてきた背景があることから、幼児期から小学生への成長も見据えた「切れ目のない子育て支援」の更なる充実が必要である。
- ・乳幼児室を利用するためには、ベビーカーを置いて階段を上らなければならないことが難点。

<乳幼児と中・高校生世代等との触れ合い体験の取組>

- ・日常적으로お互いが安全に安心して交流できる空間の環境設定、取り組みについては実施できていない。
- ・「赤ちゃんふれあい事業」は、一部の児童館で地域の中学校等と連携して行っているに留まっている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、異世代交流が減っている。交流を求める保護者や協力団体は多いが、学校の授業体系、カリキュラムから授業内での実施が難しい面があり、実施回数は減ってきている。

<地域の子育て支援>

- ・ネットワークの構築には地域ごとの特性があり、行政連絡会や地域連絡会の頻度や密度に差がある。

- ・学校によって、取組の温度差が大きい。

地域の健全育成の環境づくりについて

- ・ネットワーク事業の取組は地域によって頻度や密度の差があり、さらなる工夫の余地がある。
- ・出張児童館の実施は個別の地域ごとの実施に留まっている。
- ・ノーマライゼーション事業や一年生グループで児童館外の活動することはあるが、「出前児童館」的な公園や施設に出向くことはできていない。

ボランティア等の育成と活動支援について

- ・グループ活動を実施するにあたり、継続的に地域の方にボランティアをしていただきたいが、なかなか発掘できていない。
- ・SNSの発達や、共働き世帯の増加も一因となり、児童館を活動の場とする母親クラブ、子育てサークル、支援団体等の活動回数、団体登録数がともに減少傾向にある。
- ・小学校高学年、中・高校生になると、学習支援のニーズも高まる。また、特に女子にとっては親、児童館職員、学校の先生ではない、年が近い大人がピアサポートで関わり、話を聞いたりすることも必要になると考えている。そういった学生ボランティアの発掘が必要。
- ・中高生委員会以外の子どもたちのボランティア活動は実施できていない。

学童クラブと連携について

- ・学童クラブ在籍児童が急増しており、近隣学童クラブとの交流が十分にできていない。